



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社レントラックス
 コード番号 6045 URL <http://renttracks.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小高 忠裕

TEL 03-3878-4159

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	9,500	8.7	179	65.2	177	65.6	59	78.7
2019年3月期	10,409	24.9	515	23.3	515	23.0	279	0.6

(注) 包括利益 2020年3月期 35百万円 (87.2%) 2019年3月期 279百万円 (4.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	7.54	7.53	2.8	4.6	1.9
2019年3月期	35.45	35.33	13.9	15.3	5.0

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	3,859	2,078	53.8	263.94
2019年3月期	3,925	2,124	54.1	268.99

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,076百万円 2019年3月期 2,123百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	237	281	75	1,741
2019年3月期	420	313	646	2,352

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		8.00	8.00	63	22.6	3.1
2020年3月期		0.00		9.00	9.00	70	119.4	3.4
2021年3月期(予想)		0.00		9.00	9.00		100.6	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,064	105.2	71	56.5	69	56.1	23	55.0	2.96
通期	9,758	102.7	169	94.3	166	94.1	70	118.5	8.95

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	7,975,800 株	2019年3月期	7,954,800 株
期末自己株式数	2020年3月期	100,343 株	2019年3月期	60,143 株
期中平均株式数	2020年3月期	7,891,224 株	2019年3月期	7,890,189 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	9,086	8.0	278	51.6	274	52.3	29	88.3
2019年3月期	9,873	27.6	576	26.5	575	26.2	248	21.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	3.69	3.69
2019年3月期	31.51	31.41

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	3,738	2,014	53.8	255.84
2019年3月期	3,838	2,069	53.9	262.04

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,012百万円 2019年3月期 2,068百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績との概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2019年4月1日から2020年3月31日）におけるわが国の経済は、米中の貿易摩擦の深刻化や海外経済に減速の動きがみられるなど不透明感が強まる中、年明け以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により、世界経済の先行きに対する不透明感はより一層大きくなってきております。

このような経済状況のもと、株式会社電通の「2019年日本の広告費」によれば、2019年の日本の総広告費は6兆9,381億円と8年連続のプラス成長、その中でも当社グループが属するインターネット広告市場においては、インターネット広告媒体費が1兆6,630億円（前年比114.8%）と堅調に成長を続けております。

当社グループでは、主力の成果報酬型広告サービス事業において、金融、自動車買取、引越、エステ、転職求人、土業、不動産関連など既存の各ジャンルにおける広告主様への注力を継続するとともに、物販等のその他新規分野の広告主様に対して営業の強化を図り、また広告掲載媒体運営者様に対して、より一層の連携強化に努めております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高9,500,237千円（前期比91.3%）、営業利益179,412千円（同34.8%）、経常利益177,340千円（同34.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益は59,466千円（同21.3%）となりました。

セグメント別の売上高は、成果報酬型広告サービス事業が8,917,253千円（同97.4%）、検索連動型広告代行事業が424,667千円（同36.2%）、その他の事業が158,316千円（同188.0%）となっております。また、セグメント利益は、成果報酬型広告サービス事業が1,017,013千円（同86.6%）、検索連動型広告代行事業が45,709千円（同44.5%）、その他の事業が134,150千円（同180.5%）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は3,859,684千円となり、前連結会計年度末と比較して65,524千円の減少となりました。これは現金及び預金が603,978千円減少したこと、売掛金が252,586千円、投資有価証券が164,768千円、関係会社株式が55,020千円増加したこと等が主な要因であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は1,781,068千円となり、前連結会計年度末と比較して19,331千円の減少となりました。これは買掛金が108,654千円増加したこと、未払法人税等が124,214千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は2,078,615千円となり、前連結会計年度末と比較して46,193千円の減少となりました。これは為替換算調整勘定が21,438千円減少したこと、自己株式（純資産のマイナス勘定）が19,980千円増加したこと等が主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べ610,951千円減少し、1,741,661千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計期間の営業活動による結果、資金は237,681千円のマイナスとなりました。これは主に税金等調整前当期純利益(154,840千円)の計上に対し、売上債権の増加(252,739千円)による資金の減少、仕入債務の増加(108,740千円)による資金の増加、法人税等の支払(219,996千円)等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計期間の投資活動に使用した資金は281,147千円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出(192,583千円)、関係会社株式の取得による支出(55,020千円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計期間の財務活動に使用した資金は75,021千円となりました。これは主に自己株式の取得による支出(19,980千円)、配当金の支払額(63,178千円)等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループにおきましては、今後も継続的に優秀な人材の確保に努め、主力の成果報酬型広告サービス事業における新規分野の広告主に対して更なる営業強化を図り、業界におけるシェアの拡大に引き続き取り組んでまいります。

また国内及び海外における子会社において、グループ全体の業績向上に寄与すべく、グローバルな営業活動の推進を継続して参ります。

次期の連結業績予想は、売上高9,758百万円（前期比102.7%）、営業利益169百万円（同94.3%）、経常利益166百万円（同94.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益70百万円（同118.5%）と予想しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、現時点で想定されるコロナウィルス感染拡大の影響を見込んで作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際会計基準（I F R S）の適用時期につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,363,070	1,759,092
売掛金	1,113,694	1,366,280
商品及び製品	—	9,419
原材料及び貯蔵品	1,315	255
前払費用	68,232	40,672
その他	15,086	101,173
貸倒引当金	△2,281	△4,272
流動資産合計	3,559,117	3,272,622
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,130	1,130
減価償却累計額	△992	△1,039
建物(純額)	137	90
工具、器具及び備品	8,199	8,637
減価償却累計額	△4,922	△6,066
工具、器具及び備品(純額)	3,276	2,570
建設仮勘定	—	21,120
有形固定資産合計	3,414	23,781
無形固定資産		
のれん	2,328	1,862
その他	4,159	5,787
無形固定資産合計	6,487	7,650
投資その他の資産		
投資有価証券	299,426	464,194
関係会社株式	—	55,020
繰延税金資産	41,218	17,815
その他	34,404	33,860
貸倒引当金	△18,859	△15,259
投資その他の資産合計	356,189	555,630
固定資産合計	366,091	587,062
資産合計	3,925,209	3,859,684

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	816,064	924,719
短期借入金	700,000	707,655
未払法人税等	132,980	8,766
賞与引当金	19,220	21,300
その他	132,135	118,627
流動負債合計	1,800,400	1,781,068
負債合計	1,800,400	1,781,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,925	440,096
資本剰余金	345,925	346,096
利益剰余金	1,381,014	1,377,324
自己株式	△34,768	△54,749
株主資本合計	2,132,097	2,108,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△2,262
為替換算調整勘定	△8,487	△29,925
その他の包括利益累計額合計	△8,487	△32,187
新株予約権	1,198	2,036
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,124,808	2,078,615
負債純資産合計	3,925,209	3,859,684

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	10,409,312	9,500,237
売上原価	9,058,576	8,303,363
売上総利益	1,350,736	1,196,874
販売費及び一般管理費	834,890	1,017,461
営業利益	515,845	179,412
営業外収益		
受取利息	757	1,000
為替差益	—	56
その他	2,197	2,587
営業外収益合計	2,954	3,644
営業外費用		
支払利息	1,678	3,232
為替差損	1,476	—
投資事業組合運用損	—	2,054
その他	241	430
営業外費用合計	3,396	5,717
経常利益	515,403	177,340
特別損失		
減損損失	55,853	—
投資有価証券評価損	—	22,500
特別損失合計	55,853	22,500
税金等調整前当期純利益	459,550	154,840
法人税、住民税及び事業税	180,019	70,972
法人税等調整額	△1,449	24,401
法人税等合計	178,569	95,373
当期純利益	280,980	59,466
非支配株主に帰属する当期純利益	1,279	—
親会社株主に帰属する当期純利益	279,701	59,466

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	280,980	59,466
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,910	△21,438
その他有価証券評価差額金	—	△2,262
その他の包括利益合計	△1,910	△23,700
包括利益	279,069	35,766
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	277,790	35,766
非支配株主に係る包括利益	1,279	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	439,478	345,478	1,156,135	△34,726	1,906,365
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	447	447			895
剰余金の配当			△54,821		△54,821
親会社株主に帰属する当期純利益			279,701		279,701
自己株式の取得				△42	△42
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	447	447	224,879	△42	225,732
当期末残高	439,925	345,925	1,381,014	△34,768	2,132,097

	その他の包括利益 累計額			新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	—	△6,576	△6,576	—	△1,281	1,898,506
当期変動額						
新株の発行 (新株予約権の行使)						895
剰余金の配当						△54,821
親会社株主に帰属する当期純利益						279,701
自己株式の取得						△42
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		△1,910	△1,910	1,198	1,282	569
当期変動額合計	—	△1,910	△1,910	1,198	1,282	226,301
当期末残高	—	△8,487	△8,487	1,198	0	2,124,808

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	439,925	345,925	1,381,014	△34,768	2,132,097
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	170	170			340
剰余金の配当			△63,157		△63,157
親会社株主に帰属する当期純利益			59,466		59,466
自己株式の取得				△19,980	△19,980
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	170	170	△3,690	△19,980	△23,330
当期末残高	440,096	346,096	1,377,324	△54,749	2,108,766

	その他の包括利益 累計額			新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	—	△8,487	△8,487	1,198	0	2,124,808
当期変動額						
新株の発行 (新株予約権の行使)						340
剰余金の配当						△63,157
親会社株主に帰属する当期純利益						59,466
自己株式の取得						△19,980
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,262	△21,438	△23,700	838		△22,862
当期変動額合計	△2,262	△21,438	△23,700	838	—	△46,193
当期末残高	△2,262	△29,925	△32,187	2,036	0	2,078,615

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	459,550	154,840
減価償却費	9,727	3,152
のれん償却額	23,869	465
投資事業組合運用損益(△は益)	—	2,054
減損損失	55,853	—
株式報酬費用	838	838
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△272	△1,609
賞与引当金の増減額(△は減少)	620	2,080
投資有価証券評価損益(△は益)	—	22,500
受取利息	△757	△1,000
支払利息	1,678	3,232
売上債権の増減額(△は増加)	△165,296	△252,739
たな卸資産の増減額(△は増加)	948	△8,879
前払費用の増減額(△は増加)	18,091	26,786
仕入債務の増減額(△は減少)	120,839	108,740
未払金の増減額(△は減少)	△10,404	△3,023
その他の資産の増減額(△は増加)	3,992	△55,186
その他の負債の増減額(△は減少)	15,443	△17,704
小計	534,722	△15,453
利息の受取額	757	1,000
利息の支払額	△1,678	△3,232
法人税等の支払額	△113,151	△219,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	420,650	△237,681
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△631	△22,292
無形固定資産の取得による支出	△364	△3,100
投資有価証券の取得による支出	△299,426	△192,583
関係会社株式の取得による支出	—	△55,020
敷金及び保証金の差入による支出	△9,060	△2,533
敷金及び保証金の回収による収入	477	1,761
定期預金の預入による支出	△650	△7,380
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,128	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313,783	△281,147
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,000	7,797
株式の発行による収入	895	340
新株予約権の発行による収入	360	—
自己株式の取得による支出	△42	△19,980
配当金の支払額	△54,704	△63,178
財務活動によるキャッシュ・フロー	646,508	△75,021
現金及び現金同等物に係る換算差額	△600	△17,099
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	752,775	△610,951
現金及び現金同等物の期首残高	1,599,837	2,352,612
現金及び現金同等物の期末残高	2,352,612	1,741,661

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業内容に基づき包括的な戦略を立案し、事業活動を展開していることから、事業内容を基礎としたセグメントから構成されており、「成果報酬型広告サービス事業」、「検索連動型広告代行業」を報告セグメントとしております。

「成果報酬型広告サービス事業」とは、広告主と広告掲載媒体との間での成功報酬額の調整、確定した成功報酬の回収・支払管理等を行う事業であります。「検索連動型広告代行業」とは、検索連動型広告の取次代理及び適切なキーワードの選定・管理や出稿時期の調整などの運用代行を行う事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	連結財務諸表計 上額(注3)
	成果報酬型広告 サービス事業	検索連動型広告 代行業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,151,832	1,173,263	10,325,095	84,216	10,409,312
計	9,151,832	1,173,263	10,325,095	84,216	10,409,312
セグメント利益	1,173,744	102,670	1,276,415	74,320	1,350,736

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため、記載していません。

3 セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の売上総利益と一致しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	連結財務諸表計 上額(注3)
	成果報酬型広告 サービス事業	検索連動型広告 代行業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,917,253	424,667	9,341,921	158,316	9,500,237
計	8,917,253	424,667	9,341,921	158,316	9,500,237
セグメント利益	1,017,013	45,709	1,062,723	134,150	1,196,874

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため、記載していません。

3 セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の売上総利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	268.99円	263.94円
1株当たり当期純利益金額	35.45円	7.54円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	35.33円	7.53円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	279,701	59,466
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	279,701	59,466
期中平均株式数(株)	7,890,189	7,891,180
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整 額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	25,558	1,399
(うち新株予約権(株))	(25,558)	(1,399)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第9回新株予約権 (新株予約権の数87個(普通株式 8,700株)) 第10回新株予約権 (新株予約権の数400個(普通株式 40,000株))	第9回新株予約権 (新株予約権の数65個(普通株式 6,500株)) 第10回新株予約権 (新株予約権の数390個(普通株式 39,000株))

(重要な後発事象)

該当事項はありません。